

京都府立堂本印象美術館 コレクション展

旅する印象



画家が見つめた、

ひと・町・自然

2022 6/25 Sat → 9/25 Sun

開館時間＝午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日＝月曜日(但し、月曜日が祝休日の場合は開館し、翌平日休館)

観覧料＝一般510円(400円)／高校・大学生400円(320円)／小・中学生200円(160円)

※()内は20名以上の団体料金 ※65歳以上の方(要公的証明書)および障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

主催＝京都府、京都府立堂本印象美術館(指定管理者：公益財団法人京都文化財団)、京都新聞 助成＝一般財団法人地域創造

京都府立 堂本印象美術館

KYOTO PREFECTURAL INSHO-DOMOTO MUSEUM OF FINE ARTS

〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3 TEL:075-463-0007 <https://insho-domoto.com>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更する場合がございます。ご来館前に当館ホームページなどで最新情報をご確認ください。

上から コンコルド広場(美の聲音挿絵)(部分) 1952年/モンパルナス 1954年/
ヴェニス(美の聲音挿絵)(部分) 1952年 ナべて京都府立堂本印象美術館蔵

大正から昭和期にかけて活躍した日本画家 堂本印象(1891~1975)。印象の表現は、日本や東洋の古典芸術をもとに西洋画の手法を取り入れた具象絵画から、戦後には抽象絵画へと幅広い展開を遂げました。こうした様式の変化の裏には、昭和27年(1952)、61歳で初めて経験した渡欧が大きな契機であったといえるでしょう。本展では、渡欧に関連した作品とともに、大正時代に訪ねた中国に基づく作品も展示します。熟達した境地の洒落なヨーロッパ風景と、若手画家時代の大正ロマン漂う中国風景をそれぞれお楽しみください。

30代の中国風景



60代のヨーロッパ風景



一人の画家とは
思えない
表現の幅広さ



具象から
抽象まで



右上から時計まわりに
雄風 1922年
洛陽女子(部分) 1923年
南旅情巻(部分) 1921年
オペラ通り(美の聲音挿絵) 1952年
生活 1955年
風車(陶板下絵)(部分) 1954年
マルセイユ港 1952年
仙人図 藍菜和(部分) 1922年
すべて京都府立堂本印象美術館蔵

展覧会、関連イベント
情報など随時更新
@DOMOTO_Insho
@domoto_insho



交通のご案内
JR京都駅より市バス⑤⑩、JRバス(立命館大学経由)
JR円町駅より市バス⑩、JRバス(立命館大学経由)
阪急電車烏丸駅より市バス⑫、⑫②、⑫⑤
京阪電車三条駅より市バス⑫、⑮、⑮①、⑮⑤
市営地下鉄四条駅より市バス⑫、⑫②、⑫⑤
※いずれも「立命館大学前」下車

駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
お車の方は近隣のコインパーキングをご利用ください。

京都府立 堂本印象美術館

KYOTO PREFECTURAL INSHO-DOMOTO MUSEUM OF FINE ARTS



〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3 TEL. 075-463-0007 <https://insho-domoto.com>